

第27回災害対策本部会議における知事コメント

本日も、熊本県は各地で38度を超える猛暑日となりました。ぎりぎり酷暑日にはならなかったようですね。

ただ避難生活を送られている皆様をはじめ、復旧・復興活動に御尽力いただいている皆様も、先ほど環境省さんからお話ありましたように、十分な水分補給を行うなど、熱中症対策に御留意いただきたいと思います。

たいへん暑い日が続く中で、連日、多くの災害ボランティアの皆様に、被災地での支援活動に当たっていただいております。心より感謝申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興のため、引き続き、ボランティアの皆様何卒よろしくお願い申し上げます。

そこで、先ほど健康福祉部長から説明がありましたとおり、県において、災害ボランティアバスの運行を開始することとしました。まずは、今週末から、熊本市内から氷川町への運行を開始し、9月からは八代市、宇城市への運行も開始する予定です。

引き続き、多くのボランティアの皆様のお力を賜りますような仕掛けとして用意させていただきました。何卒多くのボランティアの方に御参加いただきたいと思います、よろしくお願いいたします。

また、市町村や県内外の応援職員の皆さまの御尽力により、県全体における罹災証明の調査率と交付率がかなり上がってまいりました。調査率は68.3%、交付率は37.5%です。この酷暑、猛暑の中で、ワンチームで1日10軒から、多いところで15軒の被災家屋を訪問し、調査を進めていただいている職員の皆さまに改めて感謝申し上げます。

早いところで今月中、遅くとも9月上旬までの1次調査完了を目指し、国、県、市町村、一丸となって取り組んでおりますので、被災者の皆様、お手元に罹災証明書が届くまで、もうしばらく御不便をおかけしますが、お待ちいただきたいと思います。全力で調査を進めます。

そして本日は、芦北町を訪問し、被災したマルタ選果場や田浦（たのうら）漁港、国登録有形文化財の赤松館（せきしょうかん）を訪問いたしまして、竹崎芦北町長をはじめ、町民の皆様から直接お話を伺って参りました。それぞれの被害に対して、芦北町とも連携して、しっかりと支援を行って参ります。特に思いを深くしましたのは、熊本が日本に誇るデコポン、甘夏の拠点選果場大きな被害を受けたマルタ選果場でございます。例年どおり12月1日からの選果が可能となるよう、関係機関とも連携して、スピード感を持って選果場の再開、関連施設と連携した再開に取り組んで参りたいと思います。

8月も下旬に入り、いよいよ夏休み明けの学校が始まります。

被災地の子どもたちが安心して学校に通えるよう、県の教育委員会職員による登下校時の見守り活動を実施します。

子どもたちの笑顔が、被災地に元気を与えてくれます。子どもたちのため、そして被災され

令和8年（2026年）8月25日16時00分
防災推進課

た全ての皆さまのため、引き続き、一丸となって頑張って参りましょう。何卒よろしくお願い申し上げます。